

愛媛支部

愛顔（えがお）つなぐえひめ国体
えひめ大会まであと1年！

2017年、愛媛で国体・障害者スポーツ大会が開催されます。それに向けて、情報支援ボランティアを募集したところ、手話・文字情報支援合わせて860人以上の申込がありました。今、その方々を対象とした研修会が県下各地で行われています。

大会についての説明、競技や観光に関する単語・表現の学習など、たくさんの内容を限られた時間に盛り込むので、教える方も学ぶ方も大変ですが、会場は、色とりどりの国体ポロシャツを着た人が多く、気合い十分といった様子です。

研修のたびに「大会がゴールなのではなく、その後が大切。これをきっかけに障がい者への理解や交流が広がってほしい」と、担当の方からお話があります。それが実現できるように、また、全国から集まった選手や応援団の方々に楽しい時間を過ごしていただけるよう、みんなががんばっていききたいと思います。



第2回全通研アカデミー～全通研学校Ⅲ～〈四国会場〉

香川支部

9月4日（日）、香川において開催されました。四国ブロックとして通訳、開催地香川として要員、会場準備と片付けのお手伝いをしました。当日は、台風の影響が心配されましたが、59名の方に参加していただき無事に開催できました。午前は、社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会理事長 植野 慶也氏の「障害者差別解消法と聴覚障害者」の講義、午後は、特別養護老人ホーム 淡路ふくろうの郷施設長 大矢 暹氏による「高齢聴覚障害者に必要な支援」の講義がありました。

3年に一度、四国ブロックでの開催となります。次に香川が担当する時は、何かしら“お・も・て・な・し”が出来ればいいな、でも、うどん店の紹介をするくらい…とっていると、つい先日、ニュースで国立代々木競技場が世界遺産の登録に向けて動き始めると発表がありました。日本を代表する建築家丹下健三氏による建築です。実は、今回のアカデミー会場のすぐ近くの県庁(東館)も丹下氏建築です。皆さんも次回来県の際には、ぜひご覧ください。食べてよし、見てよしの香川です(*^-^*)



あさいと
結社

今年のとさ通研のメインの学習会は、「夏の大学習会」として本部理事 小山 秀樹氏を講師としてお招きしました。午前中は講演「仲間づくりのため、みんなで考える全通研の魅力」、午後からは、読み取り学習をしました。読み取り学習は3～4人のグループに分かれ話し合い、その結果を発表しましたので色々な読み取り方があるのだな～と笑いの中にも考えさせられる内容盛り沢山でした。

「夏の大学習会」以外には登録通訳者班の学習会を5年未満と5年以上に分かれて開催しました。今までのスキルアップ学習会などは全会員対象でしたが経験年数で分けてほしいとの要望でこの様な形を考えました。一般会員対象の技術研修会もあります。未会員にも呼び掛けて会員増加に繋げています。このように専門性と大衆性を基に会員からの要望も聞きながら、とさ通研らしさを出していきたいと考えています。



高知支部

手話Cafe～♪「手話」をキーワードに集まろう♪

8月28日（日）交流プラザ団体会議室にて、「第1回手話Cafe」を開催。今年の手話通訳対策部の企画です。「手話に興味があるけど何処に行っていけばいいかわからない！」「手話を習いたいけどいきなりサークルは不安！」などそんな方にも、もっと気軽に、そして楽しく手話に触れられる「場」を提供したいと企画しました。「習いに来る」ではなく「遊びに来る」感覚です。当日はCafeらしく会場をつくりましたが、思いの外多くの参加があり、商売繁盛の体。席は満席で、他からイスを探してくるほどでした。テーブルには白紙の紙とマジックを準備、マインドマップのようにブレーストミングで意見を筆談でやり取りができる工夫をして、声を出さずに伝えあうことをめざしました。小学生も必死になり手話Cafeのルールを守り、身ぶりや筆談でコミュニケーションを図ります。会場のあちこちで手話にこだわらず「伝わること、伝えること、伝わったこと」を確認し合うことの大切さを感じてもらったようです。次回第3回も企画し順調な滑り出しです。おいしいお菓子やお茶も準備をして、部長の店長、部員の店員も楽しみながらおもてなしをしています。次回も皆さまのご来店をお待ち致しております♪



徳島支部